

第11回

くらしのサイエンス講演会

大阪市立環境科学研究所・大阪府立公衆衛生研究所 共催

1. 大阪の結核について～大阪は結核全国ワーストワンです～

大阪市立環境科学研究所 長谷 篤

日本の結核は世界の先進諸国の中では際立って深刻で、欧米諸国と比べると約2～4倍の患者数です。患者は、高齢化するとともに、大都市に集中しています。中でも、大阪の結核は患者数が全国平均の約3倍で、飛びぬけています。本講演では、大阪の結核の実情と府市での共同研究を紹介しながら、大阪の結核について皆様と一緒に考えてみたいと思います。

2. インフルエンザ～古くて新しい世界的流行病～にどう対応するか？

大阪府立公衆衛生研究所 加瀬哲男

2009年4月に北米で発生した新型インフルエンザは、日本でも5月に近畿地方で流行が始まり、8月には全国に蔓延しました。厚生労働省では、これまでの封じ込めを中心とした対策から、重症化防止および急激な感染拡大と一斉流行を抑制することに主眼をおいた対策に変更しました。いま、新型インフルエンザの流行を間近にみている中で、どのように対処していけばいいのか、皆様とともに考えてみたいと思います。

日 時:平成22年1月20日(水)14時～16時

会 場:大阪府病院年金会館
コンベンションルーム
(大阪市天王寺区六万體町4-11)
(交通)地下鉄谷町線・四天王寺前夕陽ヶ丘駅
3番出口から徒歩1分

定 員:150名
参加費:無 料



お申し込みは、はがき、FAX、e-mailまたは電話で受け付けています。

○はがき、FAX、e-mailでのお申し込みは、「住所・氏名・連絡先電話番号 (FAXの場合はFAX番号も)」をご記入のうえ

〒537-0025 大阪市東成区中道1丁目3番69号
大阪府立公衆衛生研究所「企画調整課」まで
FAX 06-6972-7625
e-mail : seminar@iph.pref.osaka.jp

○電話でのお申し込みは、TEL 06-6972-1321(内297)

◎希望者が多数の場合は先着順(150名)とさせていただきます

申込方法